

ボーナスカットに対し抗議する！

12月10日、年末手当が支給されましたが、分会組合員2名に対してボーナスがカットされていました。私たちは繰り返される不当なボーナスカットに断固、抗議します。

明細を渡した管理者に理由を尋ねましたが、「ここでは分からない」「総合的判断」としか答えませんでした。何度も言いますがこれでは何のための担当助役か、まったく社員の立場に立った役割になっていません。

私たちは、これまで運転士に向けられた「添乗」やその中でも「恣意的な注意」に対して抗議の声を上げてきました。会社は、これまでのボーナスカットの理由がそうした「細かい部分までモノを言う」「指の先から行動までチェックする」やり方でした。これでは安全な運転を心がけようと思っても安心して運転できなくなります。

また、高齢者雇用安定法改正法案に関する、定年後の再雇用対象者基準の問題で、JR東海には他の会社にはない厳しすぎる再雇用基準があります。現在、会社はこうした「厳しすぎる基準」を利用して恣意的な期末手当のカットを行っているのです。

私たちは、定年後も希望者全員が継続雇用出来るよう会社に申し入れていますし、国会でも「平等に継続雇用の機会が与えられるよう、企業に義務付けを課すべき」「企業の恣意的な選択で継続雇用が妨げられないように」との意見が出されています。

私たちは、不当なボーナスカットを繰り返し、J R東海労組合員を専任社員として採用しない組織破壊攻撃を許さず、安全で安心して働ける、運転や車掌の仕事が気持ちよく出来る職場の労働条件の改善を目指していきます。